

【刊夕】日八十月八

常磐毎日新聞

厚五程郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
 (刊休日祭曜日) 錢05行1語字21號5料告廣
 治文崎川 人刷印人輯編發行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電・社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

行雲流水 (二)

眞繼 雲山

人生五十年は固よりのこと、森羅萬象の一切は素と自性あるものではなくして、悉くこれ因縁の集散に過ぎない。

凝つては百鍊の鐵、開いては萬葉の櫻、雪や水と隔つれど、落つれば同じ谷川の水であり、落ちずも同じ温性たるを失はぬ。雪や氷が化相であつて、水といふが動きなき實相である、寒暑の縁によりて雪ともなり、また水蒸氣ともなるので、諸法は因縁生である。

私たちは、この水といふ眞如村から流れて来て、しばらく雪や氷の化身を示してゐるに外ならぬ、敵といひ味方といふ淺ましい地上の雪で、やがては怨讎の彼方に一切皆空に歸する、尊といひ成敗といひ、生死といふも落つれば同じ谷川の水である。

水は流れても溪谷の環境は動かないやうに、生死は無常なれども、眞如の理法は萬古不易である、この不易の眞理を洞破したものに佛教がある。

孔夫子は「逝くものは歸らず猶ほ水の如き乎」と橋上に浩嘆したが、水の一小片を我れと思へばこそ不歸の嘆あり、萬解の悲涙なきことを得ないのである、しばらく我他彼此の妄見を徹して、天地一枚の高居に白眼せんには、雪といひ氷といふも水たるに變りなく、自といひ他といふも等しく佛性の化現であり、萬靈一元、生死一如、榮落と無常と遷流は天地運行の大則のみと知るがよい。

この故に若し名字を徹し年處をはなれ、迷悟を脱し得ば、三千年前の釋尊は今日のわれなり、三千年後の行客亦た昨日われなるならんやである。



『生花』

君がなさけで
 とこのまの
 花びんに咲いた

すずらんよ
 はかない身とは
 知りつゝも
 君がなさけに
 ほだされて
 ほのかに匂ふ
 昨日今日
 人のなさけて
 咲いたはな

◎乙女心は
 寂しいものよ
 谷口曙光作
 次の如き流行歌を作りました、節は讀者諸君がいゝ様につけて下さい

(一) 乙女心は眞白の青い空のトラゾラア風に吹かれてちぎれて泣いて私しや悲しい乙女です
 (二) 乙女心は寂しいものよ
 (三) 乙女心はオレンジの燃ゆるハートのフラアワールどうせ枯れるの私のいのち私しや悲劇の女主人公乙女心は寂しいものよ

専門
 産科 婦人科 花柳病科
 入院應需
井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

八月十三日より七日間
 御中元には三井の品を
 御贈答用御仕着に格安品豊富に取揃へ全商品大提供!!

モス着尺	二
本場銘仙	二圓五十錢
石形	五
編織	五十錢ヨリ
白紗	三十八錢ヨリ
天笠(大巾一丈)	三十
ちぢみ(時、白、水大巾一丈もの)	五十錢
女夏帯	一圓
アト帯	十錢

◎其他大見切堀出しモノ澤山
 ◎御進物に三井の商品券
 御中元の御用命は!!!
 平町 三井吳服店

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

△おまじ兼の
アート新製品ベスト判
カメラ入荷致しました

このカメラはベスト判(画面は縦一寸九分横一寸三分)即ち米國イーストマン會社のベストコダックや獨逸のカルル・ツァイス會社のビコレツテと同様に寫ります、バルブ及びシャッターは正面上部のボタンの廻轉に依つて簡単に調節出来ますから高級品と變りありません、又普通小型フィルムもアダプター(補助枠)に依つて簡単に使用出来ますから非常に便利で着荷早々大好評にて陸續御用命を頂いて居ります、何卒弊店ウインドーの實物を御覽下さい……

新製品
 アートベスト判カメラ 附屬品付
 特價 金二圓五十錢

新製品C1號
 アート・レフレックス・カメラ 附屬品付
 特價 金貳圓五十錢

この外一組金五十錢より三圓五十錢迄各種あります尚弊店より御買上の御客様へは上達する迄親切に御教へ致します、おわかりにならぬ方は御遠慮なく御申出下さい……

優勝旗爭奪戰
 第三回 懸賞寫眞募集
 〆切八月二十日 發表 八月二十五日
 賞品及び規定は弊店ウエントウに掲載してあります

模型飛行機用材料賣行 旺盛の爲め
 品切の處今般澤山入荷致しました

飛行機材料豐富
 平 驛 前
いづみや玩具店

愛讀者への奉仕

川崎小鳥著

満州土産談

四六版二百數十頁

◇月極讀者に無代進呈◇

本紙連載の川崎本社執筆「満州土産談」は前後百回に亘り、満州を鋭利な観察眼に依つて、あらゆる方面より、縦横に解剖し、軽妙な筆致は、よく其の實相を捉え來つて餘す處なく、眼前に展開しました。本社は各方面の求望に鑑み、茲に多大な犠牲を拂つて、單行本となし日頃の御後援に酬えん爲め、讀者諸彦に洩れなく無代進呈する事となり、目下印刷中であります。今や日支兩國間の交渉往來益々緊密なるに當り、満州の近情を明らかに知る事は、轉じて我が國運の歸趨を卜すに足るべく、従つて國民必讀の文字は此の好著の全幅に飛躍して居ります。御期待を願ふと同時に本社の微衷を諒せられよ！

大野村信用組合は

一名も利用者なし

解散せん計り行詰る
復活を部會が幹旋

石城郡大野村信用購買組合は本年に入り殆んど村民に利用者なく自然解散せん計りの行詰つた有様なので産業組合石城部會では極力事業の復活を幹旋中であつたが廿日午前九時から同村小学校に役員會を開會事業復活の具體策を協議する事になつたと

鯉漁場調査

魚群は多いが
餌付きは不良

磐城丸からの報告
縣水産試験場磐城丸は鯉漁場調査のため去る六日から十五日迄出航したが十七日報告して來た状況は次の如

出穂一週間遅る

石城地方の水稲

石城郡下における水稲は例年早稲種で今月十二、三日晩生種で二十日前後に出穂することとなつてゐるが今年

自轉車日本一周

明日平町を通過

時事新報社後援で人氣を湧かせてゐる日本一周自轉車走破記録レースの行程にある東電サイクルの堀、湯川兩選手は連日猛烈な炎暑と闘ひながら疾走してゐるが今十八日朝仙臺市を出發して本縣入りとなり明十九日午前五時、中村町出發、四ツ倉、平、湯本、植田、勿來の各町を通過一路同夕刻茨城縣平磯に向ふ豫定である尚平町輸業有志は選手一行の行を旺とし同町外迄歓迎を行ふ筈

勿來驛活況

客貨共に激増

勿來驛の最近の貨車配給状態を見るに一日三十車を下らず三百五十トン以上の輸送をなし昨年よりも一日平均百トンの激増を示してをり大日本、王城、酒井、吉田組の各炭礦界の活況を見せてゐるが更に風光明眉の勿來海岸を控えてゐるので史蹟を探訪する乗降客相當多く昨今は一日千名に上る

今日話

北海道美唄のある一村落では、副業養雞組合といふのが組織されてをりまして、年頃の娘さんが嫁入の時機三年程前になりましたと、この組合に加入させて、副業による嫁入貯金をさせます。一人當り十羽餘り飼はせまして、これが収入の半額を親の助けとさせ、半分を嫁入基金として組合で貯金いたします。組合では組合員の便利を計り、飼料は各地の間屋から購入し、卵は地方の間屋に入れて澤山の収入を上げて居ります組合員には毎月雑誌を廻讀せしめ、集會を開いて向上に努めるなどいろいろしてをります。尚組合員が嫁入する時は、祝賀として組合から簞笥一本贈ることになつてゐるので近所の村ではこの村のことを簞笥村と云ひます。

盛況である

産卵数が

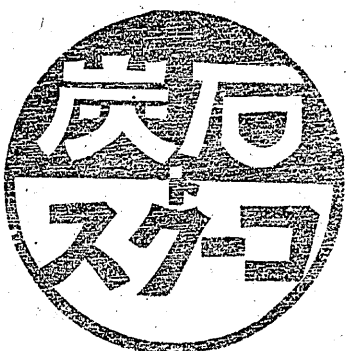
石城郡勿來町養雞組合では青森國立種鶏場に産卵能力検定試験の爲め昨年十一月より單冠白色レグホン種を出陳してゐるが七月迄の産卵数は二十八號雞二百二十一個で全國出陳雞の第二位を占めてゐる

模範工場見る處か

四苦八苦の經營難
福島縣工場協會では豫ねてより會員中の希望者を募り八月下旬北海道全道の模範工場の經營状況を視察すべく平器管内各工場にも勧誘あつたが管内各業者は申し合はした様に日々の經營難に悩まされ一名の希望者もないと

平町人事

死 亡
福町四七 加藤泰三(四七)
△福町四三 片平三代子(一)



ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ!
此レ程良イ石炭トハ

思ハンカツタ
品ガ良ク
值ガ安ク
經濟的ニハ正ニ
百パーセントダ



阿部石炭商店

電話二三七番デスカ
早ク一俵御届ケ下サイ
平 停 車 場 前

吉田眼科病院

平 街 町 電話六八番

放火の嫌疑者が

留置場内で頓死

▽其筋の發表は腦溢血

▽死因に種々の取沙汰

放火の事實を極力否認

住所不定西白河郡西郷村宇小田村生れ坑夫岡清作(三三)は去る九日午前一時赤井村沼の作新田友治方に放火した嫌疑に依り十六日午後十時頃同村高萩佐藤某宅にて平署員に捕はれ同署に引致嚴重取調中であつたが昨日午後九時頃突然留置場内で死亡した、其筋の發表に依ると腦溢血との事であるが死亡の場所が留置場であり殊に同人は放火の事實を極力否認して居た折柄であつた

幼児が溺死

小名濱海岸で

石城郡小名濱町古港漁夫新三郎長男瀧新(七)は十五日午後一時頃同町築港内遊泳中合事務所前築港内遊泳中溺死したのを一時半頃漁夫小野徳次郎(三三)が発見其筋へ届出家人に引渡された

豊間海岸で

鯉漁舟難破

三尺先きを見通せぬ濃霧に襲はれて

消防組總出動

石城郡豊間村大字薄磯字宿海岸二哩沖合で出漁中の同村宇原町鈴木繁松所有の發動鯉漁船は鈴木繁松外五名が乗組航海中三尺前を見通せぬ濃霧のため暗礁に乗り上げ救援のサイレンを吹き鳴らしたので午後五時同村漁業組合員及び消防組員總出動

平觀世素誼會 平觀

世會にては廿日午後六時より田町鳥越師方にて素誼會を催す、番組は揚貴妃、玉葛、融である

乞食と間違ひられ

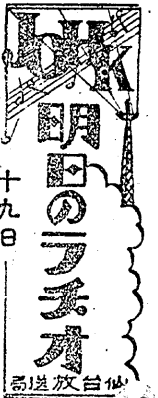
屋根代にも困ると

念佛行者の申分

ルンペン攻めに平署悲鳴

昨十七日午後三時半頃平署へ出頭した茨城縣那珂郡村松生れ大工鈴木兼治郎(五五)は五月頃樺太の豊原で失職茨城縣の郷里へ引揚るべく青森迄汽船で運ばれ青森から徒歩で来たとして合力を願ひまた本日午後一時頃自分は内郷村字御殿の木賃宿田村屋に投宿して居る念物行者齋藤泰吉(五五)で

毎日の様に各戸に立つが餘り身振が不潔なので乞食と間違ひられ殆んど収入がないから今晚田村屋へ宿と動かず年がいきなく泣き上げる始末に



明日のラジオ

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 後六、三〇 七郷落「白鳥座」
- 後六、三〇 東西文學の比較(二) グレン、シヨウ
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 官廳ニュースを含む
- 北新報社 ニュース 氣象
- 通報 告知事項 番組豫告
- 後七、三〇 川柳講座「川柳の見方と作り方」(一)
- 大谷五花村
- 後八、〇〇 講談「山田長

今晚も明日も南東の風晴れたり曇つたり 夕立 氣味

明日の部

- 政と女丈夫「若柳燕嬢」
- 後八、三〇 新日本樂隊
- 後九、〇〇 義太夫「敵討」
- 雅文談「淨瑠璃」竹本稻太夫
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組
- 豫告 告知事項
- 前六、〇〇 ラヂオ体操
- 前六、三〇 夏期英語講座「初等科十一」寺西武夫
- 前九、〇〇 氣象通報

- 前九、一〇 料理献立「肉絲炒麵肉の焼ソーメン」
- 菊地貞子 日用品値段
- 前一〇、三〇 運動競技(雨天項延)「第拾七回全國中等學校優勝野球大會」
- 狀況準決勝戦「甲子園より中継」
- 正午 時報
- 後〇、〇五 ハーモニカ合奏 トンボハーモニカバンド 指揮 畑旋
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 河北新報社 ニュース 氣象通報 告知事項
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 河北新報社 ニュース
- 後五、四五 今晚の番組豫告

- 後六、〇〇 (子供の時間) お話「時計の出来るまで」
- 篠原三千郎
- 後六、三〇 東西文學の比較(三) グレン、シヨウ
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 官廳ニュースを含む
- 北新報社 ニュース 氣象
- 通報 告知事項 番組豫告
- 後七、三〇 川柳講座「川柳の見方と作り方」(二)
- 大谷五花村
- 後八、〇〇 掛合噺「二人奴」會「廻家蝶八郎」同
- 壽美榮三味線櫻川彌壽子
- 後八、三〇 地唄「新青柳」
- 三枝菊清森久 箏菊富榮
- 後九、〇〇 連續講談 第一席 西尾慶麟

盆太鼓の音

かすかに響く

舊盆も餘す處十日間

中元賣出し賑ふ

舊盆も漸くあと十日間をあまりのみとなつたので毎夜郷土藝術盆踊りの稽古に暗かりを

賑はずに至り殊に石城地方は獨特のデングラ念佛を加へその練習振りは又格別で盛夏の夜の氣分百パーセントといふところ、而

して商家は呉服、荒物、雜貨等を筆頭に於て年中行事の中元賣出しを開始すべく目下

御 中 元

來る廿二日より卅一日迄
舊九日 十七日迄

時計、眼鏡、貴金屬類
其他……正札の

壹割引大賣出し

特に修繕物は勉強致します

店計時野星
(ヒ向ルモトルマ) 目丁三平

自轉車も打ら忘れて……

涼しい木影に呑氣な晝寝

眼を覚せば自轉車の影もなく吃驚

平町仲町廿七吉田正(三三)君は昨十七日午後二時頃商用の歸途餘りの暑さに涼を求めて松ヶ岡公園第二公園の木影で上り口に自轉車を立掛け一時間餘り晝寝をしたがイザ歸宅し様と自轉車を見ると影も形もないので驚き寝ぼけ眼をこすりながら平署に届出たが再び公園に下つた

小説 七五郎

(十四)

渡邊默禪作
布施平八郎畫

【載轉禁】

『どうも動悸がしてな、それに眩暈が……今までこんなことはなかつたが……でも大分落付いたやうだよ』
『喉いだ唇を嚙せて呟くやうに言った。』
『あんまりご心配なすつたからぢやないんですか』
千代子は瞬きもせず父の顔を見守つた。
『ひ、ひ』
うと／＼と瞑りかけた目を襲れたやうにパツと視開いて

『千代さん、客はまだ歸りませんか』
『え』
頷いて見せて
『二階の方にござた／＼してゐるやうですが程なく歸つて行くでせうよ』
『川島をちよつと此處へ呼んでください』
膝にかけた毛布の上で皺びた手がブル／＼とふるいた
『は』
傍の店員に目配せしめたが呼んで来いとは言はなかつたで、立上つた店員はまご／＼してゐた。
其處へ女中のお竹が薬を持つて這入つて来た。
『お嬢さま、林先生は只今直ぐにいらつしやるさうで



『然う。ぢや、あのお前ね奥の八疊へお床を展べてね直ぐお臥し申すやうに支度をして置いて下さい』
斯う言ひ附てから粉薬を父の口にふくませて。
『お父さん、只今林さんがお見えになるさうですから

ことが不意に起つて来よう、と、またどうなりませうと、之れは運命ですからね、お父さん、氣を大きくお持ちになつて諦めて下さいましな、丈夫でさへゐらつしやれば、まだ／＼先が長いお身体ですもの、梶の取りやうで何とでもなりますわ、ですからね、お父さん。今迄のことは一切お忘れなすつて、さつぱりとした軽いお心持ちにおんななさいましよ。只今のお心から重荷を取下してお仕舞にならなけりや、いつまで経つたつてこの御病氣は、お癒りにならないのですから、ど

よく見て戴いて、それからゆつくりお睡眠なさいましな、ね』
『う』
神経的に臉をばち／＼と動かした。
『貴父、あんまりご心配なすつたからですわ、どんな

うぞね、お父さん』
血の氣の貧しい父の手を、おつと取つて見詰めたが、慰めるやうに斯う言ふうちにも自づと腦が塞がつて来て直ぐと泣き出したやうな氣分になるのであつた。
半兵衛は、呻くやうな

聲を洩して横向きに枕の位置を變へた。
『ちよいと、竹や』
千代子は睫毛に浮いて来た露をそつと手巾の端に拭いて。
『お母さんは何處へ被行つたの』
『奥様ですか、あの磯子の御別荘の方へお出掛けでございます。あなた様がお出ましになりましてから直ぐに出ていらつしやいましたお君どんをお連れになりまして、……』
『磯子へ……へえ……』
千代子は眉を蹙めた。
『ぢやお電話でお知らせした方がいゝわね』
『お懸け申しませうか』
それが半兵衛の耳に這入ると一つの強い刺戟を與へたかのやうにまた此方へむき直つた。



看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

貸切は……
セダン揃ひで！
貸切専門の！
昭和タクシーへ
電話三四三

御新佛への大サーブス
法名入提灯の大廉賣
瓜形 一對房付 金一圓五十錢ヨリ
角形 一對房付 金三圓ヨリ
經尺三 金三圓ヨリ 尺四 金四圓半錢ヨリ
尺五 金五圓半錢ヨリ 尺六 金七圓ヨリ
尺八 金九圓ヨリ 二尺 金十四圓八錢ヨリ
是非御下命は電話九五番？
平 四丁目
スガノヤ提灯店

お茶の値下斷行
本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで
香りのよい家庭徳用別焙
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢
配 風味 平町三丁目 達
大勝園 鈴木義忠 電話三〇七番

美味！
芳醇！
宗正らいた
山崎合名會社
電話一〇番

開く……
店内の照明装置等總べてウルトラモダン
平野前新通りの尖端に起つ……
藤彦
華麗なウエイ
トレスのサー
ビス振
り正に
エロー
〇〇%
を自負